

指定管理者評価票

年度	令和3年度
担当部署	教育部 図書館 文化財担当

1 公の施設

施設名称	瑞穂町郷土資料館		
所在地	瑞穂町駒形富士山316-5		
施設概要	敷地面積 4,388.36㎡ 郷土資料館：建築面積1,729.57㎡ 延べ面積2,201.28㎡ 1階：事務室、常設展示室、企画展示室、多目的室、会議室、体験学習室、ガイダンスホール、整制作業室、調査室、燻蒸室、荷解室、収蔵庫、特別収蔵庫、倉庫 2階：会議室、展示ギャラリー、収蔵庫、書庫 四阿：建築面積12.96㎡ 井戸上屋：建築面積6.25㎡		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成26年6月30日完成（導入後8年経過）		

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	アクティオ株式会社			
	所在地	目黒区東山一丁目5番4号 KDX中目黒ビル6階			
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業の実施に関する業務 2 施設等の使用の許可に関する業務 3 施設等の維持管理に関する業務 4 利用料金の収受 				

3 施設の利用状況

利用状況（量）を示す指標名	単位	指定期間中の実績				
		令和2年度	令和3年度			
① 町内在住者	人	8,873	11,693			
② 町外在住者	人	9,300	12,636			
③ 貸出日数	日	41	73			
④ 利用料収入	円	86,220	144,010			
⑤ その他収入	円	237,719	261,198			

4 指定管理者の収支状況

（単位：千円）

		令和2年度	令和3年度			
収入	指定管理料	59,869	59,933			
	利用料金収入	87	145			
	その他	238	262			
	計	60,193	60,339			
支出	支出	60,193	60,339			
	うち業務委託料	20,157	21,627			
	うち修繕費	718	911			
	うち人件費	23,323	24,289			

評価ランク	評価内容
良い 5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い 4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通 3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い 2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い 1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

5 個別評価

評価項目	評価の着眼点	評価		
		管理者	担当課	
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・条例で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	5
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	4	4
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。 指定管理料は適正か など	2	5
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	5
アウトプット指標	利用者数の状況 (事業の活動量、活動実績)	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因考慮) など 利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	5
	施設の稼働状況 (稼働日数・貸し出し日数)	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか など	5	4
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・営業努力の状況は認められるか など	5	5
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・経営状況は安定しているか など	2	3	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	5
	利用者の満足度の状況	モニタリング(利用者の満足度)はどのようなことをおこなっているか。など	5	5
	積極的な施設の活用	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	4
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	5
総括	経費比較(前指定末と指定後における町支出の比較)	町職員の関与は適切か ・経費の状況は適正か。など	3	5

6 指定管理者自己評価、意見等（一年間に活動した内容等）

個別評価	数
5	9
4	1
3	1
2	2
1	0

・感染防止対策のため講演会やイベントの参加人数を半数にし、中止することなく実施した。
 ・常設展示室の接触型の機器を感染防止のため中止にしていたが、非接触型にして使用できるようタッチペンを導入した。
 ・企画展やミニ展示等を多くの方に知っていただくため情報発信ツールとして新たにInstagram活用を開始した。
 ・「瑞穂のむかし話」の中から紙芝居を瑞穂町出身のイラストレーターに依頼し制作、「古民家で楽しむ紙芝居」で発表のほか、Youtubeを開設し「Youtubeで紙芝居」で6作品の発信をした。
 ・企画展について耕心館との連携を増やし、関連イベントや展示作品を多くするなど、両館でより楽しんで頂けるよう工夫をした。

7 担当課の評価、意見等

個別評価	数
5	9
4	3
3	1
2	0
1	0

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、4月27日から5月31日までの期間で臨時休館となったものの、年間来館者数は前年度を上回ることができた。講演会等の参加人数に制限を設けるなどの感染防止対策を徹底した上で各種事業を実施したが、参加者からは「安心して参加することができた」などの好意的な意見をいただいた。
 感染防止対策の一環として使用を中止していた常設展示室にあるタッチパネル式の機器に、タッチペンを導入し再開するなど、安全安心につながる提案を指定管理者側から積極的に行っている。
 新たな情報発信の取り組みとしてInstagramの活用やコミュニティバスへの車内広告掲載などを新たに始めた。また、「瑞穂の昔話」をYouTube上に公開（令和2年度2作品、令和3年度6作品）し、いつでも楽しむことができるようにしている。
 耕心館と連携した企画展や耕心館の体験講座をけやき館で行うなど、同一の指定管理者であるメリットを活かした活動を行っている。
 施設管理については、町担当者と緊密に連携を図りながら適切に行われている。

8 指定管理者選定委員会の評価、意見等

記入欄
【主な効果】
 緊急事態宣言の発出により、4月27日から5月31日までの期間で臨時休館となったものの、講演会等の参加人数に制限を設けるなどの感染防止対策を徹底した上で各種事業を実施し、年間来館者数は前年度を上回りました。また、新たにSNSの活用及びコミュニティバスの車内広告を開始し、「瑞穂の昔話」を動画投稿サイトに公開（令和2年度2作品、令和3年度6作品）しました。
【主な指摘】
 町内の利用者より町外の利用者が上回っていますが、引き続き、町内の利用者も増やす方策に期待します。あわせて、町の公式キャラクター「みずほまる」活用の検討も期待します。